

2011年3月期上半期連結業績 2011年3月期連結業績見通し

代表取締役社長
上釜 健宏

将来に関する記述についての注意事項

この資料には、当社または当社グループ(以下、TDKグループといいます。)に関する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、認識、評価等といった、将来に関する記述があります。これらの将来に関する記述は、TDKグループが、現在入手している情報に基づく予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として作成しているものであり、既知または未知のリスク、不確実性、その他の要因を含んでいるものです。従って、これらのリスク、不確実性、その他の要因による影響を受けることがあるため、TDKグループの将来の実績、経営成績、財務状態が、将来に関する記述に明示的または黙示的に示された内容と大幅に異なったものとなる恐れもあります。また、TDKグループはこの資料を発行した後は、適用法令の要件に服する場合を除き、将来に関する記述を更新または修正して公表する義務を負うものではありません。

TDKグループの主たる事業活動領域であるエレクトロニクス市場は常に急激な変化に晒されています。TDKグループに重大な影響を与え得る上記のリスク、不確実性、その他の要因の例として、技術の進化、需要、価格、金利、為替の変動、経済環境、競合条件の変化、法令の変更等があります。なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません。

又、本資料では、業績の概略を把握していただく目的で、多くの数値は億円単位にて表示しております。百万円単位にて管理している原数値を丸めて表示しているため、本資料に表示されている合計額、差額などが1億円の桁において、不正確と見える場合があります。詳細な数値が必要な場合は、決算短信付属資料を参照していただきますようお願いいたします。

2011年3月期上半期業績概要

	前第2四半期累計 (2009.4.1～2009.9.30)		当第2四半期累計 (2010.4.1～2010.9.30)		増減	
	金額(百万円)	売上高比 (%)	金額(百万円)	売上高比 (%)	金額(百万円)	%
売上高	385,851	100.0	442,234	100.0	56,383	14.6
営業利益(△損失)	5,402	1.4	37,188	8.4	31,786	588.4
税引前利益(△損失)	953	0.2	34,644	7.8	33,691	-
当社株主に帰属する 四半期純利益(△損失)	1,140	0.3	26,116	5.9	24,976	-
1株当たり当社株主に帰属する 四半期純利益(△損失)金額: - 基本	8円 84銭		202円 46銭			
為替レート 対米ドル 対ユーロ	95円53銭 133円21銭		88円89銭 113円80銭		7.0%の円高 14.6%の円高	
為替変動による影響金額	売上高: 282億円の減収 営業利益: 84億円の減益					

2011年3月期上半期決算の特徴

- ◆ エレクトロニクス市場は回復基調が継続するとみられたが、停滞感が広がりつつある
回復度合いはセット製品により異なる
 - ✓ スマートフォン、タブレットPC、自動車、産業機器は堅調
 - ✓ 薄型TV、LCDパネル、ノートPC、HDDは生産調整発生
- ◆ 受動部品の売上高が増加
 - ✓ 前年同期比23.3%増
 - 幅広いセット製品向けにコンデンサ、インダクティブ・デバイスの販売が増加
 - EPCOSとの相乗効果により、携帯電話向けに高周波部品の販売が増加
- ◆ 磁気応用製品の売上高は前年同期比微増
 - ✓ 前年同期比5.1%増
 - 記録デバイスの販売がHDD市場の生産調整及び円高の影響を受け販売の伸びが鈍化(前年同期比2.3%増)

2011年3月期 通期業績見通し

◆ 下期のエレクトロニクス市場の動向は不透明

期		2011年3月期 予想	2011年3月期 予想	2010年3月期 実績	2010年3月期対比 増減	
		2010年10月発表	2010年4月 2010年7月 発表		金額	増減率(%)
科目		金額	金額	金額	金額	増減率(%)
売上高	億円	8,800	8,800	8,089	711	8.8
営業利益	億円	620	620	258	362	140.6
税引前当期純利益	億円	600	600	219	381	173.9
当社株主に帰属する当期純利益	億円	450	450	135	315	232.8
固定資産の取得	億円	750	750	644	106	16.5
減価償却費	億円	820	820	838	△18	△2.1
研究開発費	億円	530	530	539	△9	△1.7

前提となる為替条件

対米ドル=80円

対ユーロ=115円

◆ 1株当たり配当金見通し

中間配当金 40円

期末配当金 40円(予定)

年間配当金 80円(予定)

下期以降に向けて

- ◆ エレクトロニクス市場の動向は不透明
- ◆ このような市場環境下でも成長が期待出来る市場に対して、より一層積極的に新製品を投入して行く
 - 成長が期待出来る市場分野
 - ✓ 通信分野(高機能3G端末、スマートフォン)
 - ✓ EV/HEV/PHEVを含む自動車分野
 - ✓ 環境・再生可能エネルギー分野
- ◆ 中国拠点を中心にした生産効率の改善を加速させる

